

2022 綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（綾の照葉樹林プロジェクト）

令和4年度 事業報告書



ヒユウガミツバツツジ（令和4年4月 大森岳）

綾の照葉樹林プロジェクト連携会議

九州森林管理局・宮崎県・綾町

（公財）日本自然保護協会・（一社）てるはの森の会

10月～2月

獣害防除作業



照葉樹林の復元

県有林造成事業(獣害防除)を行いました!(県)

シカ・ウサギの食害からカヤを守るため、獣類が嫌がる匂いの薬剤を幹に塗って獣害対策を図っています。
山で獣類の食べ物が不足する冬場(10月～2月)に実施し、散布は年に2回で、1回目と2回目の散布期間を1ヶ月以上空けています。

10月～12月

どんぐり採取・保存



照葉樹林復元に向けたどんぐりの採取・保存を実施しました(国)

照葉樹林復元のため、間伐予定箇所(2044と、と1林小班)にどんぐりの苗を植栽するため、隣接する2044林小班にトラップを5箇所設置し、どんぐりを採取(イチイガシ、シリブカガシ、コジイ、アラカシ等)を実施しました。種子は宮崎森林管理署綾森林事務所と綾町ユネスコエコパークセンターで保存し、令和5年4月～5月にかけて、森林環境教育の一環として、綾小・中学校の生徒さんの手により、どんぐりを蒔いて、その後、校内敷地において育苗を行い2～3年後、当該間伐予定箇所に植栽する予定です。
今後、成長量調査などのモニタリングを実施する予定です。

4月～3月

シカ対策調査



メスジカ成獣捕獲個体の行動域

シカ被害対策に係る行動・生息状況把握調査を行いました(国)

人工林から照葉樹林へ復元する取組として、これまで復元の試行とその効果検証のモニタリング調査等を実施してきました。しかし、シカの影響により復元が進んでいない林分が多いことが明らかになり、一定の区域において、シカの捕獲圧を高め、人工林の間伐と、シカ防護柵の設置により照葉樹林の復元を目指すことにしています。シカの行動把握調査(GPS首輪装着)と生息状況把握調査(定点カメラ22基設置)を実施し、効果的なシカ捕獲を図るための基礎資料を得ることにしました。
今後、成長量調査などのモニタリングを実施する予定です。

調査・研究

2月19日

ボランティア林床調査



ボランティア林床植生調査を実施しました!(N J & T)

綾プロエリアにおける自然林の復元状況を把握することを目的に、ボランティアと協働で林床の植生調査を実施。2010年・2015年の調査と比較すると綾プロエリア内の林床植物の種数がさらに減少したことが分かりました。
ニホンジカの食害対策が継続的な課題となっています。

12月

災害復旧事業
(吊橋遊歩道)



9月～2月

ガイド養成講座



3月11日

地域づくり
ワーキンググループ



綾ユネスコエコパーク活動



環境教育

綾照葉大吊橋遊歩道の風倒木を撤去しました(県)

照葉大吊橋から伸びる歩道の旧トロッコ道の部分は、九州自然歩道に指定されています。台風14号の影響により多くの風倒木が発生しましたが、利用者が安全で快適に散策出来るよう、風倒木の撤去を行いました。

綾ユネスコエコパークガイド養成講座を実施しました!(T & 町)

9月～2月まで月1回のガイド養成講座を開催し、16人のガイドが誕生しました。平均年齢40歳代、綾町在住者14名の受講生が集まりました。主な活動場所の綾照葉大吊橋遊歩道が、9月の台風14号により通行止めになったため、急遽川中の森に変更して講座を実施しました。今後綾照葉大吊橋遊歩道での実践活動を重ね、ガイドとしてますますのスキル向上を目指します。

森と共生した地域づくり

「おとなの山学校」モニターツアーを行いました!(T & 町)

綾町上畑自治公民館を中心に進めている「大人の山学校」モニターツアーを開催しました。参加費5,000円、2時間ほどの里山散策の後、昔の猟師飯を味わう里山暮らし体験ツアーです。
小高い丘を登り、旧トロッコ道の一部通り、九電の発電所横の綾南川において約2時間のコース。その後、上畑公民館で昔の猟師飯(イノシシカレー、イノシシの焼肉)をいただきました。食事の時には、綾猟友会のテレビ映像も流され、シシ肉のお土産付きという豪華版でした。
今後は、改良を重ね、定期的に開催の予定です。

綾ユネスコエコパーク関連の活動を報告します!(町)

綾プロエリアは、綾ユネスコエコパークの核心地域および緩衝地域にあたることから、綾町ではユネスコエコパーク関連の事業と連携しています。
ユネスコエコパークに登録された自然生態系豊かな綾のフィールドを活かし、地元小中学校の環境学習や、県内様々な学校からの校外学習(野外実習)や視察を受け入れています。令和4年度の活動実績は241件、うち綾プロ関連は49件でした。

(令和4年度活動実績) ()内は綾の照葉樹林プロジェクト関連の件数です。

- ・視察、外部対応：58件(1件)
- ・綾町主催のイベント：40件(7件)
- ・他者主催の講座など：5件
- ・取材対応：14件
- ・調査、作業：20件(16件)
- ・会議、打合せ：104件(25件)

※国は九州森林管理局・宮崎森林管理署、県は宮崎県、町は綾町、N Jは日本自然保護協会、Tはてるはの森の会
全は連携会議各機関

綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（綾の照葉樹林プロジェクト）
令和4年度 事業報告書

目 次

I 第Ⅳ期短期行動計画と令和4年度実施事業一覧.....	1-2
II 令和4年度 事業報告（※短期行動計画順に、実施した事業名・報告書記載者名を掲載）	
1 項目：協働の体制づくりー綾の照葉樹林プロジェクトの推進のための基盤整備	
1-3-②プロジェクト事務局運営事業（連携：九州森林管理局・綾町）.....	3
2 項目：照葉樹林の保護ー保護の計画的・順応的保全管理を実施	
2-1-①綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（連携：九州森林管理局）.....	4
2-2-②電波通信環境改善事業（綾町）.....	5
3 項目：照葉樹林の復元ー照葉樹林への復元を推進する	
3-1-①復元手法の検討（連携：九州森林管理局）.....	6
3-1-②照葉樹林復元のためのシカ被害対策（九州森林管理局）.....	7
3-2-①人工林から照葉樹林への復元作業（九州森林管理局）.....	8
3-2-①人工林から照葉樹林への復元事業（宮崎県）.....	9
3-2-③綾プロエリア等における鳥獣捕獲事業（九州森林管理局）.....	10
3-3-②照葉樹林復元の動態モニタリング等（九州森林管理局）.....	11
3-4-①照葉樹林復元ボランティア作業の実施（九州森林管理局）.....	12
4 項目：照葉樹林の調査研究ー照葉樹林を適切に保全管理するための調査研究を推進し、 反映する	
4-5-①市民参加による自然林の復元調査及び自然林の調査（日本自然保護協会）.....	13
5 項目：照葉樹林を通じた環境教育ー環境教育を推進する	
5-1-②環境教育のための実施計画の検討（連携：九州森林管理局）.....	14
5-1-③照葉樹林に親しむイベントの開催（連携：てるはの森の会）.....	18
5-2-②路網整備事業（宮崎県）.....	9
5-2-②九州自然歩道魅力ステップアップ事業（宮崎県）.....	16
5-2-②遊歩道整備ボランティア作業（てるはの森の会）.....	17
5-3-①環境学習事業・照葉樹林ガイドボランティア事業補助（てるはの森の会）.....	18
6 項目：プロジェクトの情報発信ー情報発信及び支援の輪の拡大活動	
6-1-①会員情報（てるはの森の会）.....	19
6-1-③④普及啓発事業（てるはの森の会）.....	20
6-1-④ホームページ等による情報発信（九州森林管理局）.....	21
6-1-⑥環境教育のための実施計画の検討（連携：九州森林管理局）.....	22

7項目：照葉樹林と共生した地域づくりー自然と共生した地域づくりへの貢献を推進する	
7-1-①地域づくりワーキング事業補助(てるはの森の会)	23
7-1-②照葉大吊橋森の驛運営事業(てるはの森の会)	24
7-2-①綾町森林づくりビジョン策定(綾町)	25
7-3-①綾町森林・林業関係検討会「綾プロ 自然と共生する地域づくり支援事業」	26
7-3-①ユネスコエコパークとの連携(綾町)	27,28
7-3-①綾ユネスコエコパーク専門委員会、地域連携協議会への出席。綾町ユネスコ エコパーク運営会議における実施計画策定支援(日本自然保護協会)	29
8項目：生物多様性の保全ー生物多様性の保全管理を推進する	
8-1-①持続的林業経営エリアにおける森林整備(九州森林管理局)	30
8-1-①県営林造成事業(宮崎県)	9
8-2-②綾生物多様性地域戦略実践支援事業(綾町)	31
Ⅲ令和4年度綾の照葉樹林プロジェクト 社会的活動まとめ	32
Ⅳ令和4年度綾の照葉樹林プロジェクト 関連文献一覧	33
Ⅴ令和4年度綾の照葉樹林プロジェクト 関連新聞記事	34

第Ⅳ期短期行動計画(平成30年～34年度)と令和4年度 実施事業一覧

重点目標: ①復元手法の検討 ②環境教育 実施計画の検討 ③綾プロ運営体制の見直し

第Ⅳ期短期行動計画					令和4年度度事業報告			
項目	第Ⅳ期課題	行動計画	実施項目	主担当	記載者	事業名	連携先	頁
1	協働の体制づくり	1 協定書を見直し第Ⅴ期行動計画を作成する	① 協定書を延長するとともに必要に応じて内容の見直しを検討	連携				
			② 第Ⅴ期短期行動計画の策定	連携				
		2 中長期目標と目標設定の見直し	① 目標を再確認し必要に応じて見直しを検討する	連携				
			② 専従職員を配置し事務局業務を行う	T	町	プロジェクト事務局運営事業	全	3
2	保護林の計画的・順応的保全管理を実施	1 保全管理計画を策定する	① 保全管理計画を策定する。	国	国	綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画	全	4
			① 巡視体制の構築	全				
		2 保全管理計画に基づき適切な保全管理を行う	② 管理施設(案内板・標識等)の整備	全	町	電波通信環境改善事業	全	5
3	照葉樹林への復元を推進する	1 シカ被害対策を含む効果的・効率的な復元手法を確立する	① 復元手法を再検討する場を設ける。	連携	国	復元手法の検討(連携)	全	6
			② シカ被害対策も含めた復元に向けた基本方針を策定し、施行する	全	国	照葉樹林復元のためのシカ被害対策		7
		2 計画的な施策を実施する	① 計画的な間伐の実施(国有林、県有林、町有林)	国・県・町	国・県	人工林から照葉樹林への復元事業		8 9
			② 復元見本林の整備	連携				
			③ 有害鳥獣捕獲の実施	国	国	綾プロエリアにおける有害鳥獣捕獲事業		10
		3 復元効果を評価する調査研究を推進する	① 間伐後の復元状況を評価調査実施(国有林、県有林、町有林)	国・県・町・NJ				
			② データの収集、解析、復元方法へのフィードバック方法の確立	国・県・町・NJ	国	照葉樹林復元の動態モニタリング等		11
		4 市民のプロジェクトへの参加を推進する	① 市民参加型の復元作業の実施	国・T	国	照葉樹林復元ボランティア作業の実施	T	12
4	照葉樹林を適切に保全管理するための調査研究を推進し、反映する	1 協働した調査・研究の体制を構築する	① 調査研究ワーキンググループの設置を含めた調査・研究体制を検討する場を設ける	連携				
			② 他のワーキンググループや調査研究機関との連携体制の整備	国・町				
		2 調査・研究のための基本方針(構想)を策定し、計画的に調査を実施する	① 調査・研究の基本方針(構想)を策定	国・県・町・NJ				
			② 基本方針に基づき毎年度計画的な調査の実施	国・県・町				
		3 モニタリング調査の実施	① 保護林・緑の回廊に関する調査	国				
			② ナラ枯れに関する調査	国・県・町				
		4 調査・研究成果の共有化及びデータベースを構築する	① GISを活用した林小班ごとの復元に必要な情報の整備	国・NJ				
			② 調査・研究成果の共有化・データベース化	国・NJ				
5 市民のプロジェクトへの参加を推進する	① 市民参加型の調査研究の実施	町・NJ・T	NJ	市民参加による自然林の復元調査及び自然林の調査	全	13		

第Ⅳ期短期行動計画(平成30年～34年度)と令和4年度 実施事業一覧

重点目標: ①復元手法の検討 ②環境教育 実施計画の検討 ③綾プロ運営体制の見直し

第Ⅳ期短期行動計画					令和4年度事業報告				
項目	第Ⅳ期課題	行動計画	実施項目	主担当	記載者	事業名	連携先	頁	
5	照葉樹林を通じた環境教育 環境教育を推進する	1 基本計画を策定する	① 基本計画を策定する	連携					
			② 環境教育エリア内の必要な整備計画を策定	国	国	環境教育のための実施計画の検討(連携)	全	14	
			③ 環境教育プログラムを検討し、試行的に実施	連携	T	照葉樹林に親しむイベントの開催(連携)	全	15	
		2 大吊橋周辺、川中自然公園、大口遊歩道等の活用方法を検討する	① 環境教育に関する活用方法の検討	T					
			② 必要なルート整備を実施	県・町・T	県	県	路網整備		9
					T	県	九州自然歩道魅力ステップアップ事業		16
		T	県	遊歩道整備ボランティア作業	県	17			
		3 ガイドボランティアを養成し、市民の理解を深める	① ガイドボランティア事業の実施・養成	T	T	T	環境学習事業・照葉樹林ガイドボランティア事業補助	町	18
			② ガイドを通して市民に綾プロを理解してもらうためのプログラム作り	T					
			③ 森林セラピーとの連携体制の検討	町・T					
6	プロジェクトの情報発信	情報発信及び支援の輪の拡大 1. 市民や企業など広く一般にプロジェクトの内容を知ってもらい、参画や会員の拡大を図る	① サポーターの募集を行い、会員を増やす	全	T	会員情報	全	19	
			② パンフレット、リーフレットの作成及び配布	全					
			③ ニュースレター、報告書の作成及び配布	全	T	普及啓発事業		20	
			④ HPの作成及び更新	全	国	ホームページ等による情報発信		21	
					T	普及啓発事業		20	
			⑤ フォーラムの実施	T					
⑥ 事業説明会の実施	連携	国	環境教育のための実施計画の検討(連携)	全	22				
7	照葉樹林と共生した地域づくり 自然と共生した地域づくりへの貢献を推進する	1 市民との協働で実施する運営体制を構築し、市民が積極的に綾プロに参画できるようにする	① 地域づくりワーキングの設置及び運営	町・T	T	地域づくりワーキングの設置と運営・事業補助	町	23	
			② てるはの森の驛の活用方法を検討し、それに応じて必要な整備	町・T	T	照葉大吊橋 森の驛運営事業	町	24	
			③ ふれあい調査の実施	NJ・T					
		2 綾町の他の事業との連携のあり方を検討し、実行計画を策定する	① 照葉樹林都市・綾の森林ビジョン策定	町	町	綾町森林づくりビジョン策定	国・県	25	
			3 綾プロと綾ユネスコエコパークの連携を推進する	① ユネスコエコパークを推進する計画を策定し、実践する	国・県・町	国	綾町森林・林業関係検討会	県・町	26
		町				ユネスコエコパークとの連携	全	27	
		NJ				綾町ユネスコエコパーク関連の会議出席。実施計画策定支援	町	29	
8	生物多様性の保全管理 生物多様性の保全管理を推進する	1 持続的林业経営の推進	① 持続的な林业経営を行うエリアにおける施業の実施	国・県	国	持続的林业経営エリアにおける森林整備		30	
			県	県営林造成事業		9			
		2 生物多様性地域戦略を推進する	① 綾町の里山周辺の植生調査	町・NJ					
② 生物多様性地域戦略の実施	全		町	綾生物多様性地域戦略 実践支援事業	NJ	31			

事業名	プロジェクト事務局運営事業(継続)	実施主体	九州森林管理局 綾町																		
項目-行動計画- 実施項目	1-3-②	連携先	連携会議各機関																		
事業概要 (目的)	各種会議等における、連携者間との連絡調整・問合せ対応、事業の企画などを行う。																				
<p>【連携会議】</p> <p>第36回 令和4年7月28日 主な協議内容 (1) 令和3年度事業報告書 (2) 令和4年度事業計画(案)</p> <p>第37回 令和5年2月21日 主な協議内容 (1) 第3次綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画推進協定書(案)について (2) 綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画(案)について (3) 令和4年度 綾プロ取り組み状況報告(案) (4) 令和5年度事業計画(案)</p> <p>【連絡調整会議】</p> <p>第1回 令和4年6月17日 主な協議内容 (1) 県道26号 宮崎須木線の工事について (2) 第36回連携会議について</p> <p>第2回 令和4年7月28日 主な協議内容 (1) 第36回連携会議について</p> <p>第3回 令和4年9月27日 主な協議内容 (1) 今年度の復元ボランティア作業について(局・てるはの森の会・綾町) (2) どんぐりの取組について(綾町) (3) 綾川流域照葉樹林帯の保護・復元に向けた保全管理計画書の作成について(局)</p> <p>第4回 令和4年12月12日 主な協議内容 (1) 綾町公民館大会での綾プロ活動報告について(2/12(日))(綾町) (2) 本年度の復元作業について (3) (仮称)綾川流域照葉樹林帯の保護・復元計画について(局) (4) 第2次綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画推進協定書について(局)</p> <p>第5回 令和5年1月31日 主な協議内容 (1) 第28回照葉樹林復元ボランティア作業2/12について(てるはの森の会) (2) ロングウォーク(照葉樹林に親しむイベント 5月)実施について(てるはの森の会) (3) (仮称)綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画について(局) (4) 第2次綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画推進協定書について(局)</p> <p>第6回 令和5年2月21日 主な協議内容:(1) 第37回連携会議について</p>																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">連携会議 各機関担当者の数 *連携会議名簿による</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州森林管理局</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>宮崎森林管理署</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>宮崎県</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>綾町</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日本自然保護協会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>てるはの森の会</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>学識経験者</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		連携会議 各機関担当者の数 *連携会議名簿による		九州森林管理局	2	宮崎森林管理署	1	宮崎県	3	綾町	3	日本自然保護協会	2	てるはの森の会	3	学識経験者	1		
連携会議 各機関担当者の数 *連携会議名簿による																					
九州森林管理局	2																				
宮崎森林管理署	1																				
宮崎県	3																				
綾町	3																				
日本自然保護協会	2																				
てるはの森の会	3																				
学識経験者	1																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">連絡調整会議 各機関担当者の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州森林管理局</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>宮崎森林管理署</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>綾森林事務所</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>宮崎県</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>綾町</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>日本自然保護協会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>てるはの森の会</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>学識経験者</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		連絡調整会議 各機関担当者の数		九州森林管理局	3	宮崎森林管理署	2	綾森林事務所	2	宮崎県	3	綾町	4	日本自然保護協会	2	てるはの森の会	3	学識経験者	1
連絡調整会議 各機関担当者の数																					
九州森林管理局	3																				
宮崎森林管理署	2																				
綾森林事務所	2																				
宮崎県	3																				
綾町	4																				
日本自然保護協会	2																				
てるはの森の会	3																				
学識経験者	1																				

事業名	綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-1-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	本計画の期間（令和5年4月1日から令和10年3月31日）は、綾の照葉樹林プロジェクト推進協定の期間と合わせて、おおむね5年を目途に必要な見直しを行う。		
<p>連携者間において意思疎通を図りながら策定を進め、綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画、森林環境教育基本計画及び第Ⅴ期短期行動計画の一本化を図った。</p>			

事業名	電波通信環境改善事業(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	2-2-②	連携先	各機関
事業概要 (目的)	千尋自然公園地域の公共通信環境改善に関する事業を実施。		
<p>設置場所およびキャリア回線の選定など、設置に向け検討中。</p>			

事業名	復元手法の検討(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-1-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	シカ被害対策、種子の採取・播種、植栽苗の育苗の手法及びこれらのスケジュール、綾町民や多様な主体の参画について検討を行い、試行的な取組として、種子(どんぐり)採取等の参画の呼びかけを綾町小・中学校に対して行う。		

- ・ 9月14日に綾町小・中学校に種子(どんぐり)採取等の説明、参画の同意を得る。スケジュール等具体的取組内容の検討は継続。

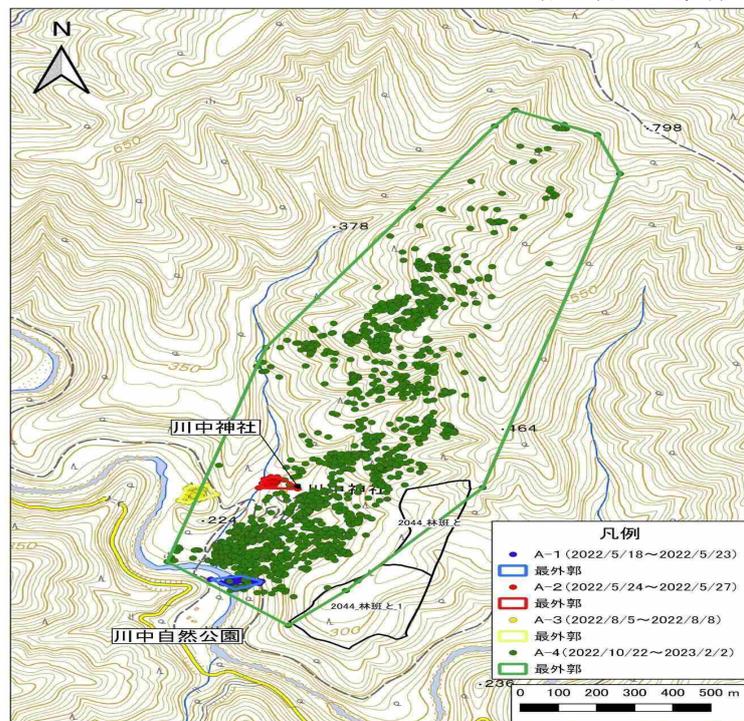


事業名	照葉樹林復元のためのシカ被害対策(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画-実施項目	3-1-②	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	川中神社周辺及び隣接する保護エリアの国有林(人工林)を主なエリアとして、地元猟友会の協力を得ながら集中的にシカの捕獲圧を高める。また、シカの行動・生息状況把握調査を踏まえて、シカの効果的な捕獲方法を検討し、天然力による照葉樹林の復元を図る取組を進める。		

- ・照葉樹林復元のための、シカ被害対策に係る行動、把握調査(GPS装着、データ回収分析)及び生息状況把握調査(自動撮影カメラのデータ回収分析)業務を実施(5月～3月)。
- ・有害・協定・委託による捕獲区域のエリア分けを行うなど効果的な実施に繋がるよう取組んだ。
- ・綾町民や地域の多様な主体の参画を得ながら、植生調査や自動撮影カメラのデータ回収等を実施する予定としていたが、植生調査については、当該取組を進める行程上の観点から未実施。

シカの生息状況把握調査図(2044林班)
(メスジカ捕獲個体の行動域)

<報告書より抜粋>



事業名	人工林から照葉樹林への復元作業	実施主体	九州森林管理局 宮崎県
項目-行動計画- 実施項目	3-2-①	連携先	—
事業概要 (目的)	復元エリア、保護エリア、環境教育エリアの国有林において、人工林を照葉樹林に復元するための間伐を実行。		
<ul style="list-style-type: none"> ・予算事情により未実施。 			

事業名	県有林造成事業(継続)	実施主体	宮崎県
項目-行動計画- 実施項目	3-2-① 5-2-② 8-1-①	連携先	森林経営課 森林管理推進室
事業概要 (目的)	持続的な林業経営を行うエリア等において、スギ人工林の間伐を実施する。 また、森林環境教育・保健休養的利用を図ると共に、人工林の針・広混交林化を進めるエリアにおいて、獣害防除を実施する。		

※短期行動計画の内容に重複する部分があることから、2項目の事業報告を行う。

1 間伐(列状間伐) 2-4-①、4-2-②
実績無し。

2 獣害防除(忌避剤散布) 7-1-①

(1) 場 所 25世紀の森(カヤとスギの複層林)

(2) 面 積 3.23ha

(3) 時 期 10月～2月



獣害防除(忌避剤散布)



カヤ植生状況

【参考】

○対 象 獣：シカ

○薬 剤 名：ユニファー水和剤

(生態系に配慮した安全な薬剤、獣類が嫌がる匂いを発する)

○散布方法 : 1haあたり原液12.5リットルの薬剤を、地際から1.5m高まで散布

○散布回数 : 年2回

(餌が不足する11月～3月が適期、2回目の間隔は1か月以上空ける)

事業名	綾プロエリア等における鳥獣捕獲事業(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-2-③	連携先	
事業概要 (目的)	綾プロエリア内にある大森岳林道、綾南林道沿い等において、委託事業におけるニホンジカの誘引捕獲を実施。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業種 : 餌を用いたくくりワナによる捕獲 ・ 捕獲頭数 : 98頭 (成獣58頭: オス39頭 メス19頭) (幼獣40頭: オス25頭 メス15頭) ・ 期 間 : 令和4年12月5日から令和5年3月24日 (完了日: 3月14日) 			

事業名	照葉樹林復元の動態モニタリング等	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画 -実施項目	3-3-②	連携先	—
事業概要 (目的)	令和2年度実施した既往のモニタリング調査結果の再整理、分析を基に該当する各プロットにおける照葉樹林への復元に関するモニタリング調査を実施（委託業務）。		
<ul style="list-style-type: none"> ・台風14号の影響により調査地へのアクセスが困難となったため未実施。 			

事業名	照葉樹林復元ボランティア作業の実施	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-4-①	連携先	てるはの森の会
事業概要 (目的)	環境教育エリア等において、公募等によりボランティアを募集し、照葉樹林復元に係るシカ柵設置作業を2回程度実施。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目は台風14号のため中止。 ・ 2回目は天候判断により中止。 			

事業名	市民参加による自然林の復元調査(継続)及び自然林の調査(継続)	実施主体	NACS-J
項目-行動計画-実施項目	4-5-①	連携先	綾町 てるはの森の会 九州森林管理局
事業概要 (目的)	11月、2月にボランティア間伐事業に合わせて林床植生調査を実施。温湿度データロガー設置及び回収(1月)。その他必要となる調査等。綾町における環境教育の取り組み状況の把握(通年)。綾町生物多様性地域戦略の見直し。		

国有林に設定されたプロット(KAW1011.06)は、2010年、2015年に調査を実施しており、2021年3回目の調査を予定していたが、実施できていなかった。残存する自然林から近く(約20m)、ボランティアによる間伐も複数回実施されている。約12年後となる2023年(実際には2022年2月19日)に調査を実施し、過去の林床植生と比較し、復元状況を把握することを目的とした。

実生・稚樹

胸高1.3m未満の実生・稚樹の種別の個体数を図1に示す。実生・稚樹の総個体数は2010年が115本、2015年が164本、2023年が30本と2015年が最も高く、2023年が最も低くなった。

落葉高木は、コジイが8本、40本、1本、イチイガシが8本、17本、12本であり、他の種に比べて個体数が多かった。常緑小高木はヒサカキが最も多く24本、32本、5本となった。いずれも、2023年には最も個体数が少なくなった。

結果

2010年、2015年、2023年の3期の調査によれば、種数は37種、47種、10種と2023年にもっとも少なくなった。先に述べたように2023年の調査時期が冬季だったことにより、2010年と2015年に行われた11月調査に比べて種数が減少した可能性がある。常緑広葉樹の種数だけをみると、10種、14種、7種となりあまり変化がなかったが、落葉樹や草本類がほとんど見られなかった。ただし、林床植生における個体数の変化をみると全体としても141本、208本、36本と2023年が最も低く、常緑広葉樹だけをみると90本、121本、30本と種数の変化に対して顕著に個体数が減少していた。



写真1 2010年(上)と2023年(下)

生活型	種名	2010	2015	2023
常緑針葉高木	スギ		16	
	モミ		1	
常緑高木	コジイ	8	40	1
	イチイガシ	8	17	12
	ヤブツツケイ	4		
	サカキ	3		
	ヤブツバキ	2	1	1
	シラカシ	2	1	
	アラカシ	1		
	クロガネモチ	1		
	タブノキ		3	
	バリバリノキ		2	2
	シロダモ		1	
ホソバタブ		1		
モチノキ		1		
スダジイ			4	
常緑小高木	ヒサカキ	24	32	5
	ヤマビワ	2	3	
	シヤシヤンボ		1	
常緑低木	マンリョウ	9	8	3
	センリョウ	1		
	ホウロクイチゴ	1		
	イズセンリョウ	1	1	
常緑小低木	ヤブコウジ	19		
	フユイチゴ	2	2	
	ミヤマトベラ	2	4	2
	コショウノキ		1	
	ツルコウジ		2	
落葉高木	カラスザンショウ	7		
	ムクノキ	4	1	
	イイギリ	1		
	キササゲ		3	
	クマノミズキ		1	
ヤマザクラ		1		
落葉小高木	ハマクサギ	3		
	イヌビワ	2	9	
落葉低木	ヤブムラサキ	6	10	
	ムラサキシキブ	2		
	ナガバモミジイチゴ		1	
合計		115	164	30

事業名	環境教育のための実施計画の検討(継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	5-1-②	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	各機関で取り組んでいるプログラムの取りまとめを進めて活用できるフィールドでの環境教育を行う。		
<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境教育基本計画を2-1-①と一本化を図ったことで、当該実施計画については、継続審議とした。 			

事業名	照葉樹林に親しむイベントの開催 (継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	5-1-③	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	町民を対象に、照葉樹林に親しむ散策や体験等を企画し、綾プロへの理解を深める		
<p>○綾・照葉樹林ロングウォーキングは、コロナ感染が落ち着いた時期に開催予定だったが、開催できなかった。</p>			

事業名	九州自然歩道魅力ステップアップ事業	実施主体	宮崎県
項目-行動計画- 実施項目	5-2-②	連携先	自然環境課
事業概要 (目的)	自然の持つ大切さや森林の持つ公益的機能を学ぶ魅力ある場として九州自然歩道を活用するため、地域住民等による自然体験プログラムの促進や利用環境の整備を行う。		

1 歩道利用活動支援事業

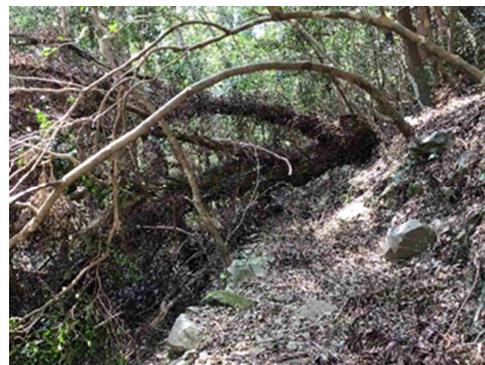
綾町自然体験・環境学習グループをはじめ、県内7団体等の九州自然歩道を活用した自然体験プログラム開発や利用環境の整備等の実施を支援。



綾町自然体験・環境学習グループによる歩道整備

2 安心安全な歩道整備事業(利用環境の整備)

草刈や清掃等の歩道維持管理を委託したほか、県直営による倒木撤去を行った。(宮崎中央森林組合)



事業名	遊歩道整備ボランティア作業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目－行動計画－ 実施事項	5-2-②	連携先	宮崎県
事業概要 (目的)	照葉樹林トレッキングコースとして、歩道の整備や看板の整備等をボランティアと行い、新たな散策ルートとして活用する。		
<p>板木林道(歩道 C 線:大口遊歩道)、川中自然公園(製材所跡整備作業)ともに作業は行えなかった。</p>			

事業名	環境学習事業 照葉樹林ガイドボランティア事業補助 (継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	5-3-①	連携先	綾町
事業概要 (目的)	大吊橋周辺遊歩道などで照葉樹林の貴重さや綾プロを普及させるため、照葉樹林ガイドボランティア実践活動やプロジェクトの視察対応、広報活動を行う。		

① 照葉樹林ガイドボランティア実践活動

令和2年度よりコロナ感染防止のため、基本的にガイド事業は中止とし、例外として県内からの依頼のみ対応したため、照葉樹林ガイドは3回のみだった。

また綾里ガイドで8月10日(水)N保育園案内を準備したが、園関係者にコロナ感染者が出て前日に中止となった。2月18日は県環境情報センターのエコチャレンジツアーの親子14組を案内した。

○照葉樹林ボランティアガイド

NO	日程	曜日	来訪者名 (団体名・ツアー名)	主催者名	主催者所在地	ガイド数	参加者数
1	7月17日	日	個人3人	個人	東京都、宮崎県	1	3
2	8月9日	火	篠栗森づくりの会	篠栗森づくりの会	福岡県	1	11
3	11月2日	月	個人	個人	東京都、	2	2

○綾里ガイド

1	8月10日	水	N保育園(中止)	N保育園	高鍋町	5	28
2	2月18日	土	子どもエコチャレンジ	県環境情報センター	宮崎市	5	31

① 照葉樹林ガイド養成講座

月1回のガイド養成講座を開催し、ガイドを育成した。16人のガイドが誕生した。平均年齢40歳代綾町在住者14名の受講生が集り、有意義な講座が開催できた。受講により、ガイドに必要な伝える技術や話し方は、格段の上達が見られた。主な活動場所の綾照葉大吊橋遊歩道が、9月の台風14号による被害で通行止めになったため、急遽川中の森に活動場所を変更して講座を行った。来年度も引き続き講座を行い、綾照葉大吊橋遊歩道が通行できるようになった際には、遊歩道での実践活動を重ね、ガイドとしてますますのスキル向上を目指したい。



ガイド養成講座 (綾ユネスコエコパークセンター)

事業名	会員情報(継続)	実施主体	てるはの森の会						
項目-行動計画- 実施項目	6-1-①	連携先	全						
事業概要 (目的)	官民協働プロジェクトを推進するため、市民参加の窓口としててるはの森の会会員へ入会を募集するほか、賛同者の寄付による参加を募集する。								
<p>○正会員数 : R5.4.1現在 8名 (内、理事4名)</p> <p>○賛助会員数 : R5.4.1現在 個人サポート会員 75件 (+4) 法人サポート会員 14件 (±0) 団体サポート会員 7件 (-1)</p> <p>○会費収入 : 330,000円</p> <p>○寄付金収入 : 102,503円</p> <table border="1" data-bbox="279 1131 821 1339"> <tr> <td>イベント等募金・ その他寄付</td> <td>94,223</td> </tr> <tr> <td>てるは大吊橋募金箱</td> <td>8,280</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>102,503</td> </tr> </table>				イベント等募金・ その他寄付	94,223	てるは大吊橋募金箱	8,280	計	102,503
イベント等募金・ その他寄付	94,223								
てるは大吊橋募金箱	8,280								
計	102,503								

事業名	普及啓発事業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画-実施項目	6-1-③、④	連携先	全
事業概要(目的)	ホームページの更新やニュースレターの発行、イベントでの展示ブース出展等の広報活動を行なう。ホームページ上にて報告書を掲載。		

○広報誌

- ・「照葉樹林だより」62号 8月3日 500部発行
- ・「照葉樹林だより」63号 12月29日 500部発行
- ・「照葉樹林だより」64号 3月26日 500部発行

広報誌「照葉樹林だより」を3号編集、発行し、会員、関係機関、今まで関わった研究者等に送付した。国立国会図書館にも送付している。



照葉樹林だより 64号

○てるはの森の会のホームページ <http://teruhanomori.jp/>



○てるはの森の会 facebook での情報発信

○視察対応 2件

○綾プロ報告書の公開

当会 HP <http://teruhanomori.jp/>

九州森林管理局 HP [jigyohoukokusyo-14.pdf \(maff.go.jp\)](http://jigyohoukokusyo-14.pdf(maff.go.jp))

綾ユネスコエコパークセンターHP <https://ayabrcenter.jp/unescoecopark/project/>

事業名	ホームページ等による情報発信	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	6-1-④	連携先	—
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクトでの取組について、令和5年3月に最新情報に更新。		

リンク先：<https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/aya/index.html>



綾の照葉樹林

綾の照葉樹林プロジェクトとは

照葉樹林への復元

これまでの取組

事業報告書

事業名	事業説明会の開催（継続）	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	6-1-⑥	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	綾町民等を対象に綾プロの普及啓発と合わせて、町民参加によるシカ被害対策とドングリの採取・育苗の取組の予告を行う。		
<ul style="list-style-type: none"> ・2月に予定されていた公民館大会は、新型コロナウイルス感染防止対策のため縮小して開催されるも、事業説明会は出来なかった。 			

事業名	地域づくりワーキングの設置と運営 事業補助(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	7-1-①	連携先	綾町
事業概要 (目的)	地域づくりWGは、綾プロジェクトの推進体制や当プロジェクトを活用した地域振興等に関する事項を検討し、住民参加を促すことを目的とする。		

検討会 4 回、コース整備 1 回、川中の森案内 1 回、モニターツアー 1 回の計 7 回のワーキングを開催した。

里山散策体験ができる「大人の山学校」事業を企画立案し、2年間モニターツアーがコロナ感染防止のため、実施できなかったため、今年度の実施に向けて準備した。まずは秋にモニターツアーを計画準備したが実施できず、ようやく 3 月 11 日にモニターツアーを実施できた。

魅力あるプログラムとするため、雨天プログラムや食事時間のスライド説明等の検討も重ねた。雨天は、地域づくりWGの説明、上畑の説明後、夏はシシ冷や汁、冬はシシ汁という、魅力あるプログラムができた。また、事業再開に向けて、ホームページ制作の準備も行っている。

本事業が、綾ユネスコエコパークの魅力を多くの人に伝えられる一助になるよう、町民とともに取り組んでいきたい。

○ワーキング委員会実施スケジュール

	日 程	委 員 会 の 内 容	参加人数
1	R4年5月12日(木) 19:00~21:00	・昨年度の反省 ・今年度の計画	9名 町職員2
2	R4年5月21日(土) 10:00~14:00	・吊り橋、川中案内	5名
3	R4年6月19日(木) 9:00~13:00	・雨天プログラムの実践・検討 ・今年度の計画	10名、学生2名 町職員2
4	R4年10月20日(木) 9:00~11:00	・コース整備(台風後)	5名 学生5名
5	R4年11月24日(木) 19:00~21:00	・雨プログラム、スライドの見直し ・モニターツアーについて	8名 町職員1
6	R5年2月9日(木) 19:00~21:00	・モニターツアーについて	11名 町職員1
7	R5年3月11日(土) 9:00~13:30	・モニターツアーの実施	9名 一般参加者5名

事業名	照葉大吊橋森の驛運営事業(継続)	実施主体	てるはの森の会・
項目-行動計画 -実施項目	7-1-②	連携先	綾町
事業概要 (目的)	照葉大吊橋食堂跡地において、「てるは森の驛」(1F:無料休憩所、照葉樹林に関するビデオコーナー(故障中)やパネル等を展示、2F:木のおもちゃで遊べる木育体験コーナー、3F:飲食物を提供する軽食堂)を運営する。		

綾照葉大吊橋は、コロナ禍のため、団体客を中心に観光客が減少し、3F「てるは森の驛」も日曜、連休のみの開館となった。

○3F: 飲食物を提供する軽食堂「てるは森の驛」 ○2F: 木育広場として活用



食堂のようす



木育広場

○1F: 森の紹介ビデオコーナー (現在ビデオは故障中)



事業名	綾町森林づくりビジョンの策定(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	7-2-①	連携先	九州森林管理局 宮崎県
事業概要 (目的)	平成30年4月に策定した綾森林整備計画策定と関連付けて策定を行う。		
<p>綾町森林・林業関係検討会（綾町、宮崎中央森林組合、中部農林振興局、宮崎森林管理署）の中で検討を行っている。</p> <p>平成29年7月に綾町森林（もり）づくりビジョンの原案が策定されており、具体的な内容について6月～11月までに計5回、綾町農林振興課を中心に内容の検討・協議を行った。</p>			

事業名	綾町森林・林業関係検討会「綾プロ 自然と共生する地域づくり支援事業」	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画-実施項目	7-3-①	連携先	綾町 宮崎県
事業概要 (目的)	綾プロの保全管理計画との連携の中で、綾町の森林・林業の現状、問題、課題等について検討会を行う。また、各種イベント等の機会を捉えて本検討会の取り組みを紹介し、関係者による検討を重ね、その解決に向けて具体的な取り組みを協議する。		
<p>綾町役場農林振興課が事務局を担い、綾町、宮崎森林管理署、宮崎中央森林組合、中部農林振興局にて協議を行った。</p>			

事業名	ユネスコエコパークとの連携(継続)	実施主体	綾町 九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	7-3-①	連携先	各機関
事業概要 (目的)	ユネスコエコパークエリア(緩衝地域)拡張に向けた調査の実施及び検討協議の推進。		
<p>■綾ユネスコエコパークエリア(緩衝地域)拡張にむけた調査の実施および検討協議の推進</p> <p>今年度は道路工事規制等で調査を実施できていないが、今後も九州森林管理局と調整しながら検討を進める。</p>			

事業名	ユネスコエコパークとの連携(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画-実施項目	7-3-①	連携先	連携会議各機関
事業概要(目的)	綾ユネスコエコパークと連携することで、綾プロの認知度を高め、活動を活性化する。		

■綾ユネスコエコパーク推進の根幹となる協議会等の運営

令和4年 5月11日(水) 第13回専門委員会 オンライン

専門委員会をオンラインにて開催した。運営会議及び地域連携協議会は、ユネスコの定期報告の結果を待ったために実施なし。綾ユネスコエコパークセンターの利用状況、各事業の進捗状況の報告、ユネスコへの定期報告等について協議した。



<5/11 第13回綾BR専門委員会>

■綾ユネスコエコパークエリア内における生物多様性に関わる基礎調査の実施
主に緩衝地域の未記載生物等に係わる調査を多古羅周辺にて実施。

■綾ユネスコエコパーク年間活動 令和4年度活動実績 231日、241件
綾ユネスコエコパークセンターを利用した小・中学校の校外学習等の対応を行った。

()内は綾プロ関連の件数

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 視察・外部対応 | 58件 (1件) |
| 2. 主催イベント・講座等の開催 | 40件 (7件) |
| 3. 他者主催講座等への参加 | 5件 (0件) |
| 4. 取材対応 | 14件 (0件) |
| 5. 調査・作業 | 20件 (16件) |
| 6. 会議・下見・打合せ等 | 104件 (25件) |

事業名	綾ユネスコエコパーク専門委員会、地域連携協議会への出席。綾町ユネスコエコパーク運営会議における実施計画策定支援(継続)	実施主体	NACS-J
項目-行動計画-実施項目	7-3-①	連携先	綾町
事業概要(目的)	地域連携協議会、専門委員会へ出席し、国内外の情報を活用してよい方向に進むようアドバイスを行う。綾BR定期報告作成に向けた支援及び情報収集等を行う。		
<p>・綾町の定期報告作成に向けてアドバイスをを行った。</p> <p>論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朱宮丈晴 (2022) 30y30における市民参加ー市民の役割と民間保護地域からの考察.環境情報科学 51-4:59-65. ・単独自治体型ユネスコエコパークにおけるESDの促進要因の研究」浅岡永里 (麻布大学大学院環境保健研究科博環境保健科学専攻博士前期課程修士論文) <p>報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度業務委託報告書綾生物多様性地域戦略実施計画支援業務、綾町、業務受託者：日本自然保護協会. <p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朱宮丈晴 (日本自然保護協会)「ユネスコエコパークを活かした生物多様性保全と地域の取り組み」2022年9月23日第5回十勝海岸の自然を考える十勝自然保護協議会主催 ・朱宮丈晴 (日本自然保護協会)「国内ユネスコエコパークの動向」2022年10月2日甲武信BR研修会山梨県主催 ・朱宮丈晴 (日本自然保護協会)「生物多様性に関するNGOの観点」、2022年11月8日林野庁森林技術総合研修所主催 <p>学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅岡永里 (麻布大学大学院)「単独自治体型ユネスコエコパークにおけるESDの現状」、2022年8月27日第33回日本環境教育学会 (東京) ・浅岡永里 (麻布大学大学院)「単独自治体型ユネスコエコパークにおけるESDの促進要因の研究」2023年3月18日環境教育学会関東支部大会発表 			

事業名	持続的林業経営エリアにおける森林整備	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	8-1-①	連携先	—
事業概要 (目的)	森林施業を行うことを基本とし、持続可能な利用を図る。		
<ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ、現地までのアクセス道路が、自然災害発生後の復旧の見通しがたっておらず、利用困難なため予定なし。 			

令和4年度 社会的活動について

①綾の森に関する視察・研修・観光・学習・森づくり等対応数

A：綾プロを主な目的として対応したもの

国 別 (件数)							
日本	アジア	中近東	オセアニア	欧州	アフリカ	北米	中南米
4							

B：綾ユネスコエコパークの一部として対応したもの

国 別 (件数)							
日本	アジア	中近東	オセアニア	欧州	アフリカ	北米	中南米
53							

②新聞・メディアでの露出数（キーワード「綾プロ」、「BR」、「照葉樹林の保護復元」）

媒 体 (件数)				
新聞	雑誌/書籍	テレビ	ラジオ	インターネット
22		2	1	

※新聞・雑誌/書籍は綾プロ報告書掲載分をカウント

③論文、寄稿、講演、表彰の数

媒 体 (件数)					
論文(※1)	論文(※2)	論文(※3)	寄稿(※4)	講演	表彰
2			2	7	

※論文・寄稿は綾プロ報告書掲載分をカウント

(※1) 綾プロ関係者が発行者または著作者であるもの（調査報告書、事業報告、冊子含む）

(※2) 綾プロ関係者以外が研究対象として綾プロの活動を取り上げ発行・著作したもの

(※3) 綾プロ関係者以外が研究対象として綾プロフィールを取り上げ発行・著作したもの

(※4) 綾プロ関係者が他機関が発行・編集するものに依頼を受けて綾プロに関連することを執筆したもの

④各者の年間支出（てるは人件費・事業費の合計、その他4者は事業費のみ）

（単位 千円）四捨五入

九州森林管理局	宮崎県	綾町	日本自然保護協会	てるはの森の会
4,483	1,876	1,443	80	1,681

令和4年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連文献一覧

タイトル	発行者	発行年	事務局 / 執筆者	雑誌名	種類	HP上での公開/非公開	公開しているHP名
照葉樹林復元のためのシカ被害対策に係る行動・生息状況把握調査	九州森林管理局	2023	九州森林管理局	—	報告書	非公開	—
綾町がユネスコ登録されて10年 / 「人と自然の共生」目指し産学連携で着実な成果	(株) 財界九州社	2022	河野円樹	財界九州 11月号	会報	公開	財界九州
30y30における市民参加—市民の役割と民間保護地域からの考察	(一社) 環境情報科学センター	2022	朱宮丈晴	環境情報科学51—4:59-65.	論文	公開	環境情報科学センター
単独自治体型ユネスコエコパークにおけるESDの促進要因の研究	麻布大学大学院	2023	浅岡永理	麻布大学大学院環境保健研究科 博環境保健科学専攻博士前期課程修士論文	論文	公開	—
令和4年度業務委託報告書綾生物多様性地域戦略実施計画支援業務、綾町、業務受託者：日本自然保護協会.	綾町	2023	(公財) 日本自然保護協会	—	報告書	非公開	—
イオシ環境財団と協働した綾ユネスコエコパークの取り組み	日本MAB計画支援委員会	2023	(公財) 日本自然保護協会 / 河野円樹	Japan Info MAB News Letter on MAB Activities in Japan No. 46	会報	非公開	—
照葉樹林だより第62号～64号	(一社) てるはの森の会	2022～2023	(一社) てるはの森の会	—	会報	公開	てるはの森の会
Ava Biosphere Reserve, Periodic Review 2012-2022 (綾ユネスコエコパーク 定期報告書 2012-2022)	綾町	2022	綾町	—	報告書	非公開	—

令和4年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連新聞記事

掲載日	新聞社名	掲載内容
2022. 4. 2	宮崎日日新聞	綾の未来 価値観変化を 照葉樹林シンポに100人
2022. 4. 12	宮崎日日新聞	綾で山林火災 22時間後鎮火
2022. 5. 5	宮崎日日新聞	きょう「みどりの日」 若葉 太陽照らされ輝く 綾の照葉樹林
2022. 8. 23～8. 28	宮崎日日新聞	綾ユネスコエコパーク10年 照葉樹林と生きる 第1部「変化」①～⑤
2022. 9. 9	宮崎日日新聞	コラム 鬼の洗濯板
2022. 9. 27～10. 2	宮崎日日新聞	綾ユネスコエコパーク10年 照葉樹林と生きる 第2部「未来へ」①～⑤
2022. 10. 22～10. 26	宮崎日日新聞	綾ユネスコエコパーク10年 照葉樹林と生きる 第3部「展望を聞く」①～④
2022. 10. 24	宮崎日日新聞	綾町制90周年 ユネスコエコパーク10年 自然と共生 誓い新た
2023. 1. 10	宮崎日日新聞	未来へつなごう、そして変えよう 人と自然の共生図る
2023. 2. 21	宮崎日日新聞	前田穰氏死去 77歳 元綾町長「エコパーク」実現
2023. 3. 19	宮崎日日新聞	自然と共生 見つめ直す 綾で照葉樹林文化シンポ



綾の照葉樹林 プロジェクト

発行：令和5年8月

発行者：綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画 連携会議

編集：綾町役場

お問い合わせ先：綾町役場 ユネスコエコパーク推進室（綾ユネスコエコパークセンター内）

〒880-1303 宮崎県東諸県郡綾町大字南俣 442 番地 3

TEL:0985-77-3482 FAX:0985-77-5125 電子メール:aya.BR.2012@town.aya.lg.jp

ホームページ: <https://ayabrcenter.jp/>